





### 新花 町田曆

△「女は美しく生れたいもの君なんか忙がしくつて困るだらう……？」と水を向けたら、三好家のかきつ「嫌になら位忙がしいのよ……」

△叶はずとも一生に一度、男に振られて見たし……と口にも出だしてねがひける妓ありけり……小面憎し……

△思ひつる或る通人の惚れしと見せて夜毎にかよひ詰めた男ふりどて顔からず、殊に金ばなれの際立ちてよきに何時しか妓の堅き心の糸も結ばれ解けて……嬉しき睦言さへも交はし合ふ仲とそなりぬ△妓の心一刻も男を見ずに居られざる程に熱昂まれる頃……

……時分はよし？とバツタリ姿を見せず、お互に思ひ合ひける年増のY子と二人、炬燵置く部屋に、その妓の噂さ話に花を咲かせし……となん△久本の久奴、以つて如何となす……？

### 桂小五郎

桂小五郎 近藤 勇 阪東妻三郎 (梗概) 風雲録

を告げる徳川末期 尊王倒幕論の前途 闘士長州の「桂」と共に親友中 谷藤馬も祿を捨て、國事に奔走し然し永い流月の地下運動に藤馬一家は貧困に襲はれ果は父の病一爲めに藤馬は金子百兩にて時の暴力團「近藤勇」に同志の油田屋集合を密告する然しそれが勤王浪士の知る處となり私刑に逢はんとする時、桂切に同志に乞ふて親友藤馬を貰ひせめて最後を飾るべく専心藤馬に自決を進め

るが彼藤馬は生に執着強く遂に桂は涙を振つて藤馬を斬る藤馬の死一病父の死一殘された満江欣也の姉弟は兄の爲父の爲に桂を仇と狙つて倒さんとする。然し可憐い女子供の力では藤馬を倒す能はずと知つた欣也はある夜姉にも話さず新撰組隊士を伴つて桂を襲撃する。桂はそれを断つたを以て欣也をも断つた。ことを知つた。桂の心は暗い氣持に閉れる最後は一人一人残つた満江は！ 於聚樂館舊元旦より三日間上映

### 森下商店

平町一丁目

### 日本一の三鱗豆炭

最も新しい燃料……三鱗豆炭の御試用を願ひます

火附のよい事木炭同様 (専用の器具不用)

燃料費は各種燃料の三分の一

……炊事場・料理店に最適品

三鱗豆炭海岸線一手販賣元

### 住吉屋セメント店

平 井 井 城 平 驛 前 (電話六六一番)

### 舊正月二日・三日

### 福引景品付大賣出し

御買上金一圓以上福引景品券呈上

午前二時開店 一圓以上先着百名に副景品を差上げます

平町一丁目 (和) 和久井屋漆器店

電話四〇五番

### 會員募集

派出多忙につき

平町八幡小路八三

平家政婦々人會

會主 鵜沼隆子

電話(呼)九三番

二葉印刷所

平町仲町・電話一九三番

二日市の景品は左の通り御實行せられん事を希望します

一、現金にて御買上の方に景品を呈します

一、現金にて商品券御買上の方にも同様景品を呈します

但し商品券にて品物御買上の場合は景品を差上げません

平町各商店御中

平町御客様御中

平 商 工 會

開店披露景品付大賣出し

銘酒 菊 水 壹四拾錢

銘酒 民 泉 壹貳拾錢

清酒壹升御買上げの方へ上樽油壹升差上げます

入物御持参なき方は壹升壹樽本拾錢を頂きます

平 町 仲 町 八

鴻 崎 支 店

日掛は金十錢以上金五十錢迄あります

六ヶ月以上御掛けに成れば一ヶ月前分貸致します

一ヶ年御掛けに成れば年五分に相當する配當がありす

明日之言はず今直ぐ御申込み下さい

商品日掛販賣の權威

平町南町一九

一徳合資會社平支店

一本社仙臺市北一番丁九

◎有給外務員招聘

磐城名産 干やなぎ

御土産用

いか鹽辛。鱈鹽辛。鱈節

平町土橋

鈴藏魚店

電話六六二番

父博之遺骨歸郷の際に御多忙中特に御迎被下御厚志忝なく奉存候乍略儀以紙上御禮申上候

二月十一日

白井一郎

正月には經濟でたいしい一心堂の生餡を御使ひ下さい、遠近を問はず御届け致します

一心堂小野寺製餡所

平町七丁目 (電話六二六番)

舊歲末奉仕大賣出し

平素の御愛顧に酬ゆる爲め大特價で奉仕致します

商品券御利用下さい

舊二日初大賣出し

二月、三日、思ひ切れた大景品呈上

新妻はき物店

平 田 町 (電話五七四番)

舊正初賣ノ景品御準備

本年ハ漆器ノ他ニ小雜貨類モ取揃ヘ御便宜ヲ計リ極力勉強奉仕致シマス故是非本年モ御愛顧ノ程ヲ御願ヒ致シマス。

必ず格好ナ品ガ有リマスカラ御照會下サイ。

各國産漆器 記念表彰品 恩賜賞品 進物贈答品 景品商品類

平町三丁目北裏通

共榮漆器店

(小店員、外交員、至急募集)

石 炭

コークス

豆 炭

氷室

水野石炭商店

平郵便局通り

電話二九九番